

## ダンウェイ 高橋陽子社長 (39)

障害者の就労支援を行うダンウェイ(川崎市中原区)の高橋陽子社長(39)は毎日新聞の取材に「障害者の就労可能性を広げ、自立につなげていきたい」と話した。

【聞き手・高橋直純】  
— 行っている事業について教えてください。

障害者の就労支援など「その人なりの自立」が達成できるような支援を行っています。川崎市の障害者福祉サービス事業者福祉サービスマスターの指定を受けており、現在は知的、精神、身体、発達障害を持つ26人が当社に通いトレーニングを受けています。11年3月の事業開始から、これま

# 障害者雇用進め活用を

業があります。これらには障害者の訓練・就労の場にもなっています。

——なぜ会社を設立したのですか。

ももとは民間企業の人材・総務部門で長く働いてきました。03年に生まれた長男(9)が3歳になった頃、発達障害があることが分かりました。これまでこのようにには働けないという現実と、障害者が仕事という形で自立できるように社会を変えたいという思いから、

——なぜ会社を設立したのですか。

ももとは民間企業の人材・総務部門で長く働いてきました。03年に生まれた長男(9)が3歳になった頃、発達障害があることが分かりました。これまでこのようにには働けないという現実と、障害者が仕事という形で自立できるように社会を変えたいという思いから、

たかはし・ようこ 人材派遣会社などの勤務を経て、10年に特定社会保険労務士の資格を取得。11年1月にダンウェイ設立。座右の銘は「努力は無限」。趣味はバレーボールで、ポジションはセッター。川崎市教育委員を務める。



ものですか。

世界的半導体メーカー「インテル」の日本人の支援を受けながら、独自開発したHP製作ソフトです。治具とは、作業位置を指示する器具を指し、誘導する器具を言います。知的障害者でも使えるように動物のアイコンを使ったり、パーツの組み合わせで製作できるようにしたりして操作を簡素化したことで、高齢者やパソコンに詳しくない人が簡単に利用できるようなりました。複数の人が得意技能を生かせるよう、分業しやすい仕組みにもなっています。ソフトを使って当社でHP製作を請け負っていましたが、昨年末から一般利用できるようにしました。自分のHPを作りたい高齢者の方に利用いただいています。「ICT治具」を使ってHPを作った会社に障害者が雇用されるようになれば良いと思います。

——今後の事業展開の方針は。

4月から障害者の法定雇用率が引き上げられます。多額の税金で育ててきた障害者を福祉の枠にとどめるのではなく、雇用という形で活用できるようになれば社会にとっても企業にとってもメリットになります。会社設立時に作った10年ビジョンでは、長男が18歳になる時に、障害者の「社会での自立」が可能になることを目指しています。いろいろな就業の場を作っていきたいと思っています。

——今後の事業展開の方針は。

4月から障害者の法定雇用率が引き上げられます。多額の税金で育ててきた障害者を福祉の枠にとどめるのではなく、雇用という形で活用できるようになれば社会にとっても企業にとってもメリットになります。会社設立時に作った10年ビジョンでは、長男が18歳になる時に、障害者の「社会での自立」が可能になることを目指しています。いろいろな就業の場を作っていきたいと思っています。

たかはし・ようこ 人材派遣会社などの勤務を経て、10年に特定社会保険労務士の資格を取得。11年1月にダンウェイ設立。座右の銘は「努力は無限」。趣味はバレーボールで、ポジションはセッター。川崎市教育委員を務める。

たかはし・ようこ 人材派遣会社などの勤務を経て、10年に特定社会保険労務士の資格を取得。11年1月にダンウェイ設立。座右の銘は「努力は無限」。趣味はバレーボールで、ポジションはセッター。川崎市教育委員を務める。